

光ファイバ接続実習

～ 地元企業からの支援を受けて～

県立鹿本商工高等学校

【光ファイバ融着接続機】

光ファイバは、現代のネット社会を支える「高速インターネット」に必要なものである。ガラス製の光ファイバは、原料の性質上ファイバを一定の温度以上に熱することで融解するため、接続させたい光ファイバの先端部同士の軸をあわせた後、熱して融解状態になったところを突き合わせることで接続することが可能である。このような接続方法を「融着接続」と呼ぶ。

融着接続機はこの作業を行うためのもので、光ファイバを1本ずつ接続するものや複数本をまとめて接続するものがある。

【光ファイバ接続実習及び地元企業からの実習機材の寄贈】

光ファイバ融着接続機を製造されているフジクラプレジジョン株式会社様が地元山鹿市にあることから、6年前から本校電子機械科でこの実習を行っている。こちらには卒業生も多く就職しており、就職試験の際に「光ファイバ接続実習」を行っていることを生徒が話したことがきっかけとなり、実習機材を寄贈していただける運びとなった。贈呈式では、機材の使い方の説明を受けたり、地元の高校生として期待されていること等のお話を伺ったりした。

現在、寄贈いただいた実習機材を用いて実習を行っており、電子機械科の生徒達も地元にある企業のことを知ると共に、就職した先輩達との繋がりを感じながら熱心に取り組んでいる。

【まとめ】

高価な実習機材の寄贈をさせていただいたフジクラプレジジョン株式会社様に感謝し、今後も生徒の指導に有効活用していきたい。



贈呈式の様子



実習風景